

ももたろう基金 事業概要

助成団体名：倉敷市西日本豪雨災害における「思い出のもの」レスキュー

事業の概要

被災した「大切なもの」の応急処置を行う。（乾燥・カビの処置方法の提案、保管場所の提案など）

「大切なもの」を捨てない呼びかけ、応急処置方法の指導のほか緊急を要するものの応急処置や水損したものの恒久的な修復処置を各種ネットワークを通じて行う。

事務局コメント

発災後間もない時点（申請は8/4）では社会的意義の判断は難しいが、必要な事業だと考える。新聞に取り上げられたことをきっかけに、口コミで関心が集まり問い合わせも増えている。

過去の災害対応経験はないが修復の経験や知識は豊富である。絵画や写真等の修復ニーズは、今後復興が進むにつれて高まると考えられる。